

どうする水田農業

このままではいいのか



柳田 隆男議員

柳田隆男議員 国は、米政策の総合的、抜本的見直しを検討しているが、水田地帯である本町はどう対応していくのか。

国策にのった政策を

北村町長 新たな米政策により、水田農業の大きな変貌が予想される。基本的には、国策にのった政策を進めるが、農村地域の高齢化、過疎化、兼業化が進むなか、集落営農体系や地域農業システム化の確立に努めながら、地域一体となった農業の振興を図る。

特別栽培米の

普及を図るべき

柳田議員 消費者は、安心安全な農産物を求めている。付加価値をつけた栽培米により、有利販売を図る考えは。

こだわりのある

米づくりが必要

町長 無化学肥料栽培や減農薬栽培など六地区で十六・八鈴栽培されている。JAなど関係機関と一体となって特色ある米づくり、売れる米づくりで産地形成を図る。

水田の畑地化は

柳田議員 農業所得の多いところは、畑作地帯である。水田を畑作化して他の作目を奨励する考えはないか。

施設化を奨励

町長 かなりの投資が必要で、その後自信を持って作る作目があるか不安

である。水田の不利な条件を克服するためには施設化がよいと思っている。

学校週五日制による家庭の役目は

柳田議員 完全学校週五日制により学力低下が懸念されるが、その取り組みと家庭への要望は。

念されるが、その取り組みと家庭への要望は。

学力向上は環境づくり

福留教育長 落ちこぼれがないように、伸びる子供は課題を与えて更に伸びるような教育の取り組みをしている。家庭では、充分睡眠をとらせる。朝食をとらせて登校させて、家庭学習の環境づくり等をしてほしい。

文化である

方言の伝承を

柳田議員 方言は郷土の文化である。子供たちへの伝承は。

検討する

教育長 方言は死語になりつつある。高齢者を活用した伝承の取り組みを検討してみる。



政策の見直しが検討されつつある水田農業